

平成 27 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンター － 市民病院	2
長崎市	長崎みなとメディカルセンター － 成人病センター	3
佐世保市	佐世保市立総合病院	4
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央 病院	5
大村市	市立大村市民病院	6
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	7
平戸市	平戸市立生月病院	8
雲仙・南島原保健組合（ 事業会計分）	公立新小浜病院	9
長崎県病院企業団	五島中央病院	10
長崎県病院企業団	富江病院	11
長崎県病院企業団	上五島病院	12
長崎県病院企業団	対馬いづはら病院	13
長崎県病院企業団	上対馬病院	14
長崎県病院企業団	中対馬病院	15
長崎県病院企業団	精神医療センター	16
長崎県病院企業団	島原病院	17
長崎県病院企業団	壱岐病院	18
長崎県病院企業団	対馬病院	19

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	長崎市
		病院名	長崎みなとメディカルセンター 市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	429,508	
決算規模(千円)	206,255,166	
標準財政規模(千円)	101,859,848	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	81.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	41,364			
1 経常収益	41,364			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	41,364			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	41,364			
2 経常費用	41,364			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.8
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.3
(うち委託料)	-	-	10.8	8.7
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	41,364			
(うち支払利息)	41,364	-	1.9	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.7
医業収支比率	-		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	長崎市
		病院名	長崎みなとメディカルセンター 成人病センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27 年度	26 年度	25 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	429,508	
決算規模(千円)	206,255,166	
標準財政規模(千円)	101,859,848	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	81.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,616			
1 経常収益	2,616			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,616			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,616			
2 経常費用	2,616			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	2,616			
(うち支払利息)	2,616	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27 年度	-	-
26 年度	-	-
25 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	佐世保市
				病院名	佐世保市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,227 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	28	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	570	85.6	87.6	85.6
療養	-	-	-	-
結核	20	14.1	20.1	36.4
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	594	82.6	84.7	83.4
平均在院日数（一般病床のみ）		12.8	13.1	13.0

設立団体の状況		
人口（人）	255,439	
決算規模（千円）	117,513,869	
標準財政規模（千円）	61,596,907	
財政力指数	0.51	
経常収支比率（%）	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.2
	将来負担比率（%）	27.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	95.9
修正医業収支金額（千円）	14,813,245

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,907,482			
1 経常収益	15,891,547			
(1) 医業収益	15,059,491			
入院収益	11,052,254			
外来収益	3,557,940			
診療収入計	14,610,194			
その他医業収益	449,297			
(うち他会計負担金)	246,246			
(2) 医業外収益	832,056			
(うち国・都道府県補助金)	34,441			
(うち他会計補助・負担金)	355,883			
(うち長期前受金戻入)	274,158			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,935			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,020,680			
2 経常費用	16,014,195			
(1) 医業費用	15,441,900			
職員給与費	6,729,950	44.7	54.5	49.7
材料費	4,634,755	30.8	24.1	27.4
(うち薬品費)	2,213,935	14.7	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,304,121	15.3	11.0	12.6
減価償却費	1,169,063	7.8	9.0	8.6
経費	2,805,049	18.6	23.3	20.4
(うち委託料)	1,013,556	6.7	10.8	11.0
研究研修費	81,639			
資産減耗費	21,444			
(2) 医業外費用	572,295			
(うち支払利息)	69,046	0.5	1.9	1.7
(3) 特別損失	6,485			
損益				
経常損益	-122,648			
純損益	-113,198			
累積欠損金	3,133,194			
経常収支比率	99.2		98.7	100.0
医業収支比率	97.5		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	3.8		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	4.0		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	3.8		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	95.5		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	20,001,420
1 固定資産	13,124,896
(1) 有形固定資産	13,124,896
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,876,524
(1) 現金及び預金	4,114,461
(2) 未収金及び未収収益	2,779,773
(3) 貸倒引当金（ ）	78,757
(4) 貯蔵品	60,990
3 繰延資産	-
負債合計	12,245,696
1 固定負債	7,117,260
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,067,272
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,049,988
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,603,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,279,519
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	749,611
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,486,269
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,525,323
(1) 長期前受金	2,518,154
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	992,831
資本合計	7,755,724
1 資本金	10,888,918
2 剰余金	-3,133,194
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,133,194
負債・資本合計	20,001,420
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	784,714	602,129
資本勘定繰入	929,836	180,469
計	1,714,550	782,598

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	20.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	佐世保市
		病院名	地方独立行政法人 北松中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	255,439	
決算規模(千円)	117,513,869	
標準財政規模(千円)	61,596,907	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	27.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,676			
1 経常収益	20,676			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	20,676			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,676			
2 経常費用	20,676			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	20,676			
(うち支払利息)	20,676	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	大村市
	病院名	市立大村市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,747 m ²	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	280	65.6	61.5	58.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	284	64.7	60.7	58.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	15.7	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	92,757	
決算規模(千円)	38,060,611	
標準財政規模(千円)	18,924,044	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	39.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	441,320			
1 経常収益	203,120			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	203,120			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	109,815			
(うち長期前受金戻入)	93,125			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	238,200			
(うち他会計繰入金)	238,200			
総費用	165,688			
2 経常費用	163,459			
(1) 医業費用	105,975			
職員給与費	1,259	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	93,125	-	9.0	9.3
経費	11,591	-	23.3	27.2
(うち委託料)	778	-	10.8	11.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	57,484			
(うち支払利息)	57,484	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	2,229			
損益				
経常損益	39,661			
純損益	275,632			
累積欠損金	3,516,103			
経常収支比率	124.3		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	54.1		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	78.9		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	57.1		86.8	83.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,119,188
1 固定資産	2,825,960
(1) 有形固定資産	2,825,960
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	293,228
(1) 現金及び預金	291,347
(2) 未収金及び未収収益	1,881
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,528,795
1 固定負債	1,781,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,481,073
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	370,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	109,797
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	259,970
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,377,465
(1) 長期前受金	6,056,031
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,678,566
資本合計	-409,607
1 資本金	629,464
2 剰余金	-1,039,071
(1) 資本剰余金	2,477,032
(2) 利益剰余金	-3,516,103
負債・資本合計	3,119,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	409,607
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,200	348,015
資本勘定繰入	88,481	70,126
計	364,681	418,141

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	平戸市
				病院名	国民健康保険平戸市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,703 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	58	91.5	87.8	93.0
療養	42	88.2	77.7	83.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	90.1	83.0	88.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.8	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	31,920	
決算規模(千円)	28,268,491	
標準財政規模(千円)	13,788,930	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	87.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.8
修正医業収支金額(千円)	1,303,785

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,671,215				
1 経常収益	1,669,924				
(1) 医業収益	1,359,109				
入院収益	790,024				
外来収益	389,489				
診療収入計	1,179,513				
その他医業収益	179,596				
(うち他会計負担金)	55,324				
(2) 医業外収益	310,815				
(うち国・都道府県補助金)	1,158				
(うち他会計補助・負担金)	200,714				
(うち長期前受金戻入)	96,583				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	1,291				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,569,705				
2 経常費用	1,565,489				
(1) 医業費用	1,484,220				
職員給与費	860,275	63.3	54.5	58.9	
材料費	169,200	12.4	24.1	18.0	
(うち薬品費)	91,505	6.7	12.6	10.0	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	77,695	5.7	11.0	7.4	
減価償却費	145,261	10.7	9.0	9.6	
経費	301,607	22.2	23.3	30.8	
(うち委託料)	164,717	12.1	10.8	12.1	
研究研修費	3,917				
資産減耗費	3,960				
(2) 医業外費用	81,269				
(うち支払利息)	41,078	3.0	1.9	2.0	
(3) 特別損失	4,216				
損益					
経常損益	104,435				
純損益	101,510				
累積欠損金	161,384				
経常収支比率	106.7		98.7	98.1	
医業収支比率	91.6		89.5	84.8	
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		12.0	15.1	
他会計繰入金対医業収益比率	18.8		14.0	18.6	
他会計繰入金対総収益比率	15.3		12.3	15.7	
実質収益対経常費用比率	90.3		86.8	83.3	

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,682,441
1 固定資産	2,854,699
(1) 有形固定資産	2,852,794
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	827,742
(1) 現金及び預金	502,774
(2) 未収金及び未収収益	316,361
(3) 貸倒引当金()	13,152
(4) 貯蔵品	21,446
3 繰延資産	-
負債合計	2,866,165
1 固定負債	1,811,128
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,200,598
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	610,530
(7) リース債務	-
2 流動負債	311,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,906
(6) リース債務	325
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,282
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	744,015
(1) 長期前受金	1,736,663
(2) 長期前受金収益化累計額()	992,648
資本合計	816,276
1 資本金	1,018,259
2 剰余金	-201,983
(1) 資本剰余金	132,546
(2) 利益剰余金	-334,529
負債・資本合計	3,682,441
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,802	256,038
資本勘定繰入	109,860	110,195
計	365,662	366,233

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	平戸市
	病院名	平戸市立生月病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,066 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	60	70.4	77.6	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	70.4	77.6	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		29.3	27.0	25.7

設立団体の状況		
人口(人)	31,920	
決算規模(千円)	28,268,491	
標準財政規模(千円)	13,788,930	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	87.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収支金額(千円)	567,118

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	748,964			
1 経常収益	747,904			
(1) 医業収益	609,178			
入院収益	335,434			
外来収益	201,749			
診療収入計	537,183			
その他医業収益	71,995			
(うち他会計負担金)	42,060			
(2) 医業外収益	138,726			
(うち国・都道府県補助金)	1,158			
(うち他会計補助・負担金)	97,827			
(うち長期前受金戻入)	35,553			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,060			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	747,615			
2 経常費用	744,512			
(1) 医業費用	726,317			
職員給与費	452,458	74.3	54.5	66.5
材料費	72,418	11.9	24.1	18.1
(うち薬品費)	41,022	6.7	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,396	5.2	11.0	5.6
減価償却費	54,362	8.9	9.0	11.3
経費	144,501	23.7	23.3	30.5
(うち委託料)	64,014	10.5	10.8	11.7
研究研修費	945			
資産減耗費	1,633			
(2) 医業外費用	18,195			
(うち支払利息)	1,672	0.3	1.9	2.4
(3) 特別損失	3,103			
損益	3,392			
純損益	1,349			
累積欠損金	173,145			
経常収支比率	100.5		98.7	97.7
医業収支比率	83.9		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	18.7		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	81.7		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,682,441
1 固定資産	2,854,699
(1) 有形固定資産	2,852,794
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	827,742
(1) 現金及び預金	502,774
(2) 未収金及び未収収益	316,361
(3) 貸倒引当金()	13,152
(4) 貯蔵品	21,446
3 繰延資産	-
負債合計	2,866,165
1 固定負債	1,811,128
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,200,598
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	610,530
(7) リース債務	-
2 流動負債	311,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,906
(6) リース債務	325
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,282
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	744,015
(1) 長期前受金	1,736,663
(2) 長期前受金収益化累計額()	992,648
資本合計	816,276
1 資本金	1,018,259
2 剰余金	-201,983
(1) 資本金剰余金	132,546
(2) 利益剰余金	-334,529
負債・資本合計	3,682,441
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	139,133	139,887
資本勘定繰入	23,532	27,312
計	162,665	167,199

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合(事業会計分)
		病院名	公立新小浜病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,857 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	15	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	90	95.1	80.2	84.9
療養	60	88.0	82.7	82.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	92.3	81.2	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	16.2	17.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.5
修正医業収支金額(千円)	5,644

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	266,118			
1 経常収益	266,118			
(1) 医業収益	5,644			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	5,644			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	260,474			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	252,100			
(うち長期前受金戻入)	4,123			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	245,245			
2 経常費用	245,241			
(1) 医業費用	224,424			
職員給与費	31,913	565.4	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	49,428	875.8	9.0	9.6
経費	143,018	2534.0	23.3	30.8
(うち委託料)	21,931	388.6	10.8	12.1
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	65	-	-	-
(2) 医業外費用	20,817	-	-	-
(うち支払利息)	15,996	283.4	1.9	2.0
(3) 特別損失	4	-	-	-
損益				
経常損益	20,877			
純損益	20,873			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.5		98.7	98.1
医業収支比率	2.5		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	94.7		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	4466.7		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	94.7		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	5.7		86.8	83.3

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,794,186
1 固定資産	1,637,568
(1) 有形固定資産	1,637,476
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,146,118
(1) 現金及び預金	971,050
(2) 未収金及び未収収益	175,068
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	10,500
負債合計	1,111,831
1 固定負債	824,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	824,194
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	219,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,330
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,235
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	128,750
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	68,206
(1) 長期前受金	467,876
(2) 長期前受金収益化累計額()	399,670
資本合計	1,682,355
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,282,674
(1) 資本剰余金	1,204,829
(2) 利益剰余金	77,845
負債・資本合計	2,794,186
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	50,779	252,100
資本勘定繰入	47,596	31,607
計	98,375	283,707

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	長崎県病院企業団
	病院名	五島中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,410 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	230	72.5	73.9	67.6
療養	-	-	-	-
結核	10	-	4.5	3.3
精神	60	61.2	65.7	59.2
感染症	4	-	-	-
計	304	67.2	69.4	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	15.7	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.6
修正医業収支金額(千円)	4,121,768

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,344,156			
1 経常収益	5,341,444			
(1) 医業収益	4,159,759			
入院収益	2,567,927			
外来収益	1,352,246			
診療収入計	3,920,173			
その他医業収益	239,586			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	1,181,685			
(うち国・都道府県補助金)	38,891			
(うち他会計補助・負担金)	1,031,483			
(うち長期前受金戻入)	67,072			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,712			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,491,726			
2 経常費用	5,462,913			
(1) 医業費用	5,113,206			
職員給与費	2,604,424	62.6	54.5	55.3
材料費	1,077,388	25.9	24.1	24.2
(うち薬品費)	547,489	13.2	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	522,271	12.6	11.0	11.5
減価償却費	476,406	11.5	9.0	8.8
経費	911,839	21.9	23.3	21.7
(うち委託料)	439,183	10.6	10.8	10.3
研究研修費	24,162			
資産減耗費	18,987			
(2) 医業外費用	349,707			
(うち支払利息)	131,307	3.2	1.9	2.1
(3) 特別損失	28,813			
損益				
経常損益	-121,469			
純損益	-147,570			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.8		98.7	97.6
医業収支比率	81.4		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.7		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	20.0		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	78.2		86.8	86.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本金剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	725,591	1,069,474
資本勘定繰入	318,638	337,539
計	1,044,229	1,407,013

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	長崎県病院企業団
	病院名	富江病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,092 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	55	97.5	96.3	79.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	97.5	96.3	79.7
平均在院日数(一般病床のみ)		30.6	30.5	41.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.3
修正医業収支金額(千円)	544,313

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	770,158			
1 経常収益	730,810			
(1) 医業収益	580,607			
入院収益	409,188			
外来収益	116,368			
診療収入計	525,556			
その他医業収益	55,051			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	150,203			
(うち国・都道府県補助金)	480			
(うち他会計補助・負担金)	132,121			
(うち長期前受金戻入)	9,447			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39,348			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	716,792			
2 経常費用	660,474			
(1) 医業費用	638,060			
職員給与費	410,175	70.6	54.5	66.5
材料費	84,245	14.5	24.1	18.1
(うち薬品費)	45,939	7.9	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,930	5.8	11.0	5.6
減価償却費	27,590	4.8	9.0	11.3
経費	113,258	19.5	23.3	30.5
(うち委託料)	43,722	7.5	10.8	11.7
研究研修費	2,448			
資産減耗費	344			
(2) 医業外費用	22,414			
(うち支払利息)	3,804	0.7	1.9	2.4
(3) 特別損失	56,318			
損益				
経常損益	70,336			
純損益	53,366			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.6		98.7	97.7
医業収支比率	91.0		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.0		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	21.9		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	85.2		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本金剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	117,563	168,415
資本勘定繰入	46,166	46,166
計	163,729	214,581

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	長崎県病院企業団
	病院名	上五島病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,932 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	132	86.5	85.2	87.6
療養	50	76.0	75.6	80.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	81.8	80.8	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	19.7	15.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.0
修正医業収支金額(千円)	3,634,975

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,216,398			
1 経常収益	4,211,387			
(1) 医業収益	3,674,663			
入院収益	1,783,118			
外来収益	1,595,460			
診療収入計	3,378,578			
その他医業収益	296,085			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	536,724			
(うち国・都道府県補助金)	17,321			
(うち他会計補助・負担金)	396,107			
(うち長期前受金戻入)	57,876			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,011			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,314,625			
2 経常費用	4,260,395			
(1) 医業費用	4,037,248			
職員給与費	2,121,521	57.7	54.5	58.9
材料費	872,335	23.7	24.1	18.0
(うち薬品費)	349,541	9.5	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	482,581	13.1	11.0	7.4
減価償却費	345,610	9.4	9.0	9.6
経費	639,649	17.4	23.3	30.8
(うち委託料)	116,131	3.2	10.8	12.1
研究研修費	25,458			
資産減耗費	32,675			
(2) 医業外費用	223,147			
(うち支払利息)	3,470	0.1	1.9	2.0
(3) 特別損失	54,230			
損益				
経常損益	-49,008			
純損益	-98,227			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.8		98.7	98.1
医業収支比率	91.0		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	88.6		86.8	83.3

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本金剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	290,330	435,795
資本勘定繰入	118,543	127,737
計	408,873	563,532

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	対馬いづはら病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,096 m ²	指定病院の状況	救臨がへ災輪		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	88.6	90.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	69.7	69.6
感染症	-	-	-	-
計	-	-	84.3	85.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	17.8	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	106.0
修正医業収支金額(千円)	435,551

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	447,024			
1 経常収益	437,625			
(1) 医業収益	435,551			
入院収益	259,242			
外来収益	159,188			
診療収入計	418,430			
その他医業収益	17,121			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,074			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,399			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	476,706			
2 経常費用	411,122			
(1) 医業費用	411,002			
職員給与費	238,973	54.9	54.5	58.9
材料費	103,178	23.7	24.1	18.0
(うち薬品費)	42,915	9.9	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,541	12.8	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	68,028	15.6	23.3	30.8
(うち委託料)	25,725	5.9	10.8	12.1
研究研修費	657			
資産減耗費	166			
(2) 医業外費用	120			
(うち支払利息)	77	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	65,584			
損益				
経常損益	26,503			
純損益	-29,682			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.4		98.7	98.1
医業収支比率	106.0		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	106.4		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本金剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	上対馬病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,352 m ²	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	60	59.9	62.9	61.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	59.9	62.9	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	21.6	23.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.2
修正医業収支金額(千円)	697,127

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	994,586			
1 経常収益	994,218			
(1) 医業収益	735,118			
入院収益	348,466			
外来収益	268,627			
診療収入計	617,093			
その他医業収益	118,025			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	259,100			
(うち国・都道府県補助金)	19,999			
(うち他会計補助・負担金)	184,913			
(うち長期前受金戻入)	29,720			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	368			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,087,238			
2 経常費用	1,044,431			
(1) 医業費用	992,449			
職員給与費	634,649	86.3	54.5	66.5
材料費	119,582	16.3	24.1	18.1
(うち薬品費)	48,919	6.7	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,987	8.4	11.0	5.6
減価償却費	99,190	13.5	9.0	11.3
経費	130,010	17.7	23.3	30.5
(うち委託料)	43,428	5.9	10.8	11.7
研究研修費	3,326			
資産減耗費	5,692			
(2) 医業外費用	51,982			
(うち支払利息)	6,966	0.9	1.9	2.4
(3) 特別損失	42,807			
損益				
経常損益	-50,213			
純損益	-92,652			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.2		98.7	97.7
医業収支比率	74.1		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.4		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	30.3		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	22.4		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	73.9		86.8	76.6

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本金剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	205,324	222,904
資本勘定繰入	41,205	42,011
計	246,529	264,915

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	中対馬病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,645 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	77.0	86.3
療養	-	-	7.8	45.7
結核	-	-	9.5	11.6
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	52.5	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	21.6	20.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.0
修正医業収支金額(千円)	128,531

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	315,802			
1 経常収益	129,227			
(1) 医業収益	128,531			
入院収益	72,385			
外来収益	53,951			
診療収入計	126,336			
その他医業収益	2,195			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	696			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	186,575			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	702,874			
2 経常費用	173,795			
(1) 医業費用	173,781			
職員給与費	98,055	76.3	54.5	58.9
材料費	27,937	21.7	24.1	18.0
(うち薬品費)	16,880	13.1	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,057	8.6	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	47,432	36.9	23.3	30.8
(うち委託料)	19,213	14.9	10.8	12.1
研究研修費	357			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14			
(うち支払利息)	14	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	529,079			
損益				
経常損益	-44,568			
純損益	-387,072			
累積欠損金	-			
経常収支比率	74.4		98.7	98.1
医業収支比率	74.0		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	74.4		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,161 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	78.7	83.4	80.8
感染症	-	-	-	-
計	139	78.7	83.4	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.6
修正医業収支金額(千円)	1,366,690

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,898,543			
1 経常収益	1,896,445			
(1) 医業収益	1,414,138			
入院収益	1,114,640			
外来収益	209,839			
診療収入計	1,324,479			
その他医業収益	89,659			
(うち他会計負担金)	47,448			
(2) 医業外収益	482,307			
(うち国・都道府県補助金)	2,795			
(うち他会計補助・負担金)	414,208			
(うち長期前受金戻入)	57,495			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,098			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,849,296			
2 経常費用	1,755,375			
(1) 医業費用	1,717,628			
職員給与費	1,187,737	84.0	54.5	92.3
材料費	163,470	11.6	24.1	9.4
(うち薬品費)	152,145	10.8	12.6	6.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,975	0.8	11.0	1.1
減価償却費	112,355	7.9	9.0	12.2
経費	239,873	17.0	23.3	32.5
(うち委託料)	121,700	8.6	10.8	15.4
研究研修費	12,122			
資産減耗費	2,071			
(2) 医業外費用	37,747			
(うち支払利息)	3,353	0.2	1.9	3.8
(3) 特別損失	93,921			
損益				
経常損益	141,070			
純損益	49,247			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.0		98.7	99.9
医業収支比率	82.3		89.5	68.0
他会計繰入金対経常収益比率	24.3		12.0	32.5
他会計繰入金対医業収益比率	32.6		14.0	50.1
他会計繰入金対総収益比率	24.3		12.3	32.2
実質収益対経常費用比率	81.7		86.8	67.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本金剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	445,194	461,656
資本勘定繰入	18,473	18,473
計	463,667	480,129

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	長崎県病院企業団
	病院名	島原病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,076 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	17	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	250	77.9	82.1	82.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	76.6	80.8	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	14.9	14.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.2
修正医業収支金額(千円)	4,782,751

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,386,906			
1 経常収益	5,383,914			
(1) 医業収益	4,900,303			
入院収益	3,579,304			
外来収益	1,120,233			
診療収入計	4,699,537			
その他医業収益	200,766			
(うち他会計負担金)	117,552			
(2) 医業外収益	483,611			
(うち国・都道府県補助金)	24,858			
(うち他会計補助・負担金)	377,471			
(うち長期前受金戻入)	65,265			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,992			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,595,779			
2 経常費用	5,495,328			
(1) 医業費用	5,189,543			
職員給与費	2,644,179	54.0	54.5	57.6
材料費	1,207,254	24.6	24.1	20.9
(うち薬品費)	683,506	13.9	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	522,900	10.7	11.0	9.8
減価償却費	499,577	10.2	9.0	9.3
経費	817,902	16.7	23.3	27.2
(うち委託料)	388,568	7.9	10.8	11.2
研究研修費	16,663			
資産減耗費	3,968			
(2) 医業外費用	305,785			
(うち支払利息)	117,983	2.4	1.9	2.1
(3) 特別損失	100,451			
損益				
経常損益	-111,414			
純損益	-208,873			
累積欠損金	10,980			
経常収支比率	98.0		98.7	96.6
医業収支比率	94.4		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	89.0		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本金剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	454,846	495,023
資本勘定繰入	296,529	332,685
計	751,375	827,708

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	長崎県病院企業団
	病院名	吉岐病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,290 m ²	指定病院の状況	救 感 災 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区 分	病床数	27年度	26年度	25年度
一 般	120	82.2	77.4	81.5
療 養	48	77.1	78.6	87.8
結 核	6	-	11.2	1.3
精 神	50	-	-	-
感 染 症	4	-	-	-
計	228	59.5	57.6	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	18.0	18.7

設立団体の状況	
人 口(人)	-
決 算 規 模(千円)	-
標 準 財 政 規 模(千円)	-
財 政 力 指 数	-
経 常 収 支 比 率(%)	-
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.1
修正医業収支金額(千円)	2,253,928

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	2,787,524			
1 経 常 収 益	2,782,190			
(1) 医 業 収 益	2,297,010			
入 院 収 益	1,492,154			
外 来 収 益	640,232			
診 療 収 入 計	2,132,386			
そ の 他 医 業 収 益	164,624			
(うち他会計負担金)	43,082			
(2) 医 業 外 収 益	485,180			
(うち国・都道府県補助金)	1,390			
(うち他会計補助・負担金)	446,021			
(うち長期前受金戻入)	24,262			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	5,334			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	2,975,293			
2 経 常 費 用	2,900,756			
(1) 医 業 費 用	2,746,700			
職 員 給 与 費	1,633,925	71.1	54.5	57.6
材 料 費	390,322	17.0	24.1	20.9
(うち薬品費)	170,295	7.4	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	215,733	9.4	11.0	9.8
減 価 償 却 費	224,713	9.8	9.0	9.3
経 費	480,385	20.9	23.3	27.2
(うち委託料)	242,225	10.5	10.8	11.2
研 究 研 修 費	14,173			
資 産 減 耗 費	3,182			
(2) 医 業 外 費 用	154,056			
(うち支払利息)	59,611	2.6	1.9	2.1
(3) 特 別 損 失	74,537			
損 益				
経 常 損 益	-118,566			
純 損 益	-187,769			
累 積 欠 損 金	184,143			
経 常 収 支 比 率	95.9		98.7	96.6
医 業 収 支 比 率	83.6		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	17.5		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	79.1		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	60,225,805
1 固 定 資 産	45,577,151
(1) 有 形 固 定 資 産	39,233,711
(2) 無 形 固 定 資 産	93,517
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	6,249,923
2 流 動 資 産	14,648,654
(1) 現 金 及 び 預 金	10,698,937
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	3,798,718
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	112,944
(4) 貯 蔵 品	253,908
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	38,578,125
1 固 定 負 債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	339,780
(6) 引 当 金	4,740,579
(7) リ ー ス 債 務	17,883
2 流 動 負 債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	1,220
(5) 引 当 金	809,542
(6) リ ー ス 債 務	15,338
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	2,690,485
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	7,150,127
(1) 長 期 前 受 金	9,677,255
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	2,527,128
資 本 合 計	21,647,680
1 資 本 金	10,470,932
2 剰 余 金	11,176,748
(1) 資 本 剰 余 金	5,053,358
(2) 利 益 剰 余 金	6,123,390
負 債 ・ 資 本 合 計	60,225,805
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	261,591	489,103
資 本 勘 定 繰 入	53,244	102,635
計	314,835	591,738

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
27 年 度	-	-
26 年 度	-	-
25 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	対馬病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,812 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
診療科数	25	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	222	84.3	-	-
療養	-	-	-	-
結核	4	2.3	-	-
精神	45	66.0	-	-
感染症	4	-	-	-
計	275	78.8	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.1
修正医業収支金額(千円)	3,619,860

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,100,604			
1 経常収益	4,439,921			
(1) 医業収益	3,699,236			
入院収益	2,182,242			
外来収益	1,163,144			
診療収入計	3,345,386			
その他医業収益	353,850			
(うち他会計負担金)	79,376			
(2) 医業外収益	740,685			
(うち国・都道府県補助金)	32,298			
(うち他会計補助・負担金)	622,247			
(うち長期前受金戻入)	38,904			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	660,683			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,053,101			
2 経常費用	4,804,439			
(1) 医業費用	4,578,596			
職員給与費	2,680,708	72.5	54.5	57.6
材料費	866,732	23.4	24.1	20.9
(うち薬品費)	399,703	10.8	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	467,029	12.6	11.0	9.8
減価償却費	199,009	5.4	9.0	9.3
経費	807,057	21.8	23.3	27.2
(うち委託料)	341,995	9.2	10.8	11.2
研究研修費	22,519			
資産減耗費	2,571			
(2) 医業外費用	225,843			
(うち支払利息)	48,384	1.3	1.9	2.1
(3) 特別損失	2,248,662			
損益				
経常損益	-364,518			
純損益	-1,952,497			
累積欠損金	1,952,497			
経常収支比率	92.4		98.7	96.6
医業収支比率	80.8		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	19.0		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	13.8		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	77.8		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,225,805
1 固定資産	45,577,151
(1) 有形固定資産	39,233,711
(2) 無形固定資産	93,517
(3) 投資その他の資産	6,249,923
2 流動資産	14,648,654
(1) 現金及び預金	10,698,937
(2) 未収金及び未収収益	3,798,718
(3) 貸倒引当金()	112,944
(4) 貯蔵品	253,908
3 繰延資産	-
負債合計	38,578,125
1 固定負債	25,880,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,782,315
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	339,780
(6) 引当金	4,740,579
(7) リース債務	17,883
2 流動負債	5,547,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,770,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,220
(5) 引当金	809,542
(6) リース債務	15,338
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,690,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,150,127
(1) 長期前受金	9,677,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,527,128
資本合計	21,647,680
1 資本金	10,470,932
2 剰余金	11,176,748
(1) 資本剰余金	5,053,358
(2) 利益剰余金	6,123,390
負債・資本合計	60,225,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	414,188	701,623
資本勘定繰入	189,174	239,820
計	603,362	941,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。